

順調に進む調査研究

〜コロナ禍の影響で一部調査はオンラインで対応〜

■北農五連委託事業に係る現地調査等

(七月二日、二日〜四日、九日、一六日、八月三日、

四日〜七日、六日、一日、一九日、三二日、

九月二日、一五日〜一九日、一七日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に
現地調査およびオンラインによるリモート調査を行いました。

■ホクレン委託事業に係る研究報告会

(七月三日)

研究者が同席して、前年度受託した課題の研究報告会を開
催しました。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る現地調査

(七月一三日)

今年度、北農五連JA営農サポート協議会から受託した課
題について、現地調査を行いました。

■ホクレン委託事業に係る研究班会議および現地調査

(七月二二日、九月一六日〜一八日、二九日)

研究者が同席して、研究班会議と現地調査を行いました。

■「令和二年度事業計画説明会」の開催

(七月二七日、二八日、八月三日、四日)

北農五連幹部職員を対象に説明会を開催し、業務推進状況
を報告しました。また併せて、研究事業の推進に係る意見交
換会を行いました。

■ホクレン委託事業に係る中間報告会

(八月五日)

研究者が同席して、今年度受託した課題の中間報告会を開
催しました。

■自主研究「持続可能な農村づくりにおける結婚支援事業に関する調査研究」に係る調査研究等

(八月二二日、一九日～二〇日、二八日、九月一〇日)
現地調査およびオンラインによるリモート調査を実施しました。

■共同研究の打合せ

(八月二七日)
「JA帯広かわにし」と、次期農業振興計画策定に係る打ち合わせ会議を、研究者が同席して行いました。

研究会・研修会等への報告者・講師派遣
(令和2年7月～9月)

○「二〇二〇年度第一回研究会」

主催 日本流通学会 北海道・東北部会

とき 令和2年9月11日

テーマ 学校給食における地場産青果物の供給体制

―札幌市学校給食を事例に―

報告 脇谷 祐子(当研究所・専任研究員)

『北海道農業・農協の軌跡とともに』
～三〇周年記念誌を刊行～

(社)北海道地域農業研究所は地域農業の振興・発展に寄与する産・官・学の連携によるシンクタンクとして、一九九〇年二月に設立されてから二〇二〇年度で三〇年を迎えます。

そこで当研究所は一〇月一日、三〇周年記念誌「北海道農業・農協の軌跡とともに」を刊行し、会員をはじめ、国や道などの行政機関、農業試験場や大学などの関係機関に贈呈しました。記念誌としては、二〇一〇年に発行した二〇周年記念誌「北海道農業の軌跡とともに」の続編になるもので、その後の一〇年の動きに焦点を当てています。

本誌ではこれまでの調査・研究事業の業績を振り返るとともに、道内各地で活躍されている農業者や道内各地をフィールドとして研究に精励されている若手研究者が、本道農業の発展に向けた熱い思いを語っています。

